

今月の PICK UP



「紙の上の動物園」シャーロット・スレイ/著 グラフィック社 720.2ス

連日の暑さの中、外出もままならないこの時期に本の中の動物園で動物たちをゆくり観察するのはどうでしょうか。

この本で描かれているのは、15世紀以降の動物・昆虫の博物画です。精密な筆遣いによって、眺めているうちにまるで生き物が目の前にいるような、今にも動き出しそうな感覚になります。

写真がまだまだ珍しかった当時、このような画は単なる模写ではなく、調査や研究のためにも使われました。科学史、科学文献の専門家である著者のシャーロット・スレイが、その絵の時代背景やみどころをわかりやすく簡潔にまとめていて、理解がより深まります。

司書の おすすめ



「図解でわかる 14歳からの水と環境問題」インフォビジュアル研究所/著 太田出版 517イ

地球は海と陸地の比率が7:3で、圧倒的に海の方が広い星です。水がなければどんな生物も生きてはいけません。そして、どんな経済活動も滞ってしまいます。それほど大切な水は、現在様々な問題を抱えています。

本書では現状と原因、問題解決のためにできることをわかりやすく解説しています。

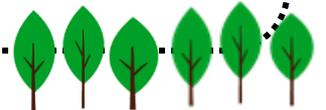
私たちの未来のために知っておきたい問題です。【ティーンズコーナーにあります】

「宇宙飛行士に聞いてみた!」ティム・ピーク/著 柳川孝二/監修 日本文芸社 538.9ピ

民間人による宇宙旅行が夢でなくなった今、この1冊はどうでしょうか?

SNSで寄せられた質問に著者が答えるQ&A方式で書かれていて、訓練の様子や宇宙ステーションの暮らしなどを知ることができます。

「宇宙でWi-Fiは使えるの?」「ロンドンマラソンにどのように参加したの?」など、“そんなことまで宇宙でできるようになったの?!”と驚くようなエピソードも紹介されています。子どもたちからの質問もあり、写真やイラストも多いので、親子で読まれてもいいと思います。



「きみに応援歌を古関裕而物語」大野益弘/著 講談社 K762コ

現在放送中のドラマ「エール」の主人公のモデルとなった作曲家・古関裕而。彼は「オリンピック・マーチ」をはじめ、「滋賀県民の歌」や彦根東高校の校歌、阪神タイガースの「六甲おろし」、読売ジャイアンツの「闘魂こめて」など数多くの曲を世に送り出しました。本書はその創作の軌跡を、写真を豊富に用いながら読みやすく描いた伝記です。【ティーンズコーナーにあります】

「聖なる怠け者の冒険」森見登美彦/著 朝日新聞出版 913.6モ

それほど昔ではない昔。京都の街に現れたのは、旧制高校のマントに身を包み、ステキに可愛い狸のお面をつけた正義の怪人、その名もぽんぽこ仮面。ぽんぽこ仮面が後継者に指名した青年がこの小説の主人公なのですが、彼は怠け者で動こうとしない。彼以外の登場人物はそれぞれの思惑のまま活発に動き、物語を掻き混ぜていきます。祇園祭の宵山の騒めきに飲まれながら、狸に化かされたような気分になれる小説です。

